





薬剤師
NEWS & REPORT
連載・コラム
学会カレンダー
処方薬事典
ダウンロード
DI Onlineとは
サービス

オンデマンド
Web講演会
調査
企業求人

薬剤師TOP
薬剤師TOP
マイルバガナム恵美の「日本とカナダの薬局見聞録」

オピオイド訴訟で考えた依存性を持つ薬の販売

マイルバガナム恵美の「日本とカナダの薬局見聞録」

👤 連載をフォロー

オピオイド訴訟で考えた依存性を持つ薬の販売

2021/02/17

📁 医薬品

🔖 オピオイド

🖨 印刷

0

ツイート

私たちは医療者として、患者の体の不調を取り除くために日々業務を遂行しています。不調を取り除く主な方法は医薬品です。適切な医薬品を安全に入手するため、患者は医療機関を受診し、処方箋を受け取り、薬局で処方箋を出して処方薬を受け取ります。そして薬を適切に服用し、体調を回復します。この時の患者の最終的な目標は（アレルギー疾患や慢性疾患など例外はありますが）、薬を中止しても元通りの日常生活を送れるようになる、ということではないかと思います。

製薬会社は莫大な研究費を掛けて日々薬を開発し、販売しています。製薬会社の最大の目的は、患者の体の不調を取り除く薬を開発することですが、それに加えて、薬をなるべく多く売って利益を上げることも、営利企業である以上、大きな目的となります。製薬会社は販売促進戦略を駆使し、薬を少しでも多く医師に処方してもらうために日々営業活動にいそしんでいます。それ自体は、決して間違っていることではありません。

ですが、もしその薬に依存性があった場合、どのようなことが起こるでしょうか。

最近、米国で大きな訴訟の判決が出ました。オピオイド系鎮痛薬であるオキシコンチンを手掛けるパーデュー・ファーマは、大手コンサルティング会社マッキンゼー&カンパニーにオキシコンチンの販売促進の戦略アドバイスを受けていました。このコンサルティング会社による助言は、米国のオキシコンチン中毒のまん延という深刻な問題を助長したと提訴されたのです。そして最近、以下の報道のように、6億ドル近くもの費用を支払うことに同意しました。

[McKinsey Settles for Nearly \\$600 Million Over Role in Opioid Crisis](#)

米国では、過去20年でオピオイド中毒で45万人もの死者を出しており、深刻な問題になっています。私が以前住んでいたカナダでもオピオイドの乱用、中毒はとても深刻な問題となっており、私たちオンタリオ州の薬剤師は2020年より、免許の更新は薬剤師会指定のオピオイドの講習を終了していないとできなくなりました（参考記事：[どうしても使いたいなら誰かと一緒に](#)）。

この問題は本当に根が深いと思います。製薬会社だけではなく病院、薬局など全ての医療関係機関はビジネスで医療に関わり、利益を追求するという側面を持っています。それが現実です。依存性のある薬は、麻薬性鎮痛薬に限りません。私たちは医療者としての倫理観を持ち、処方薬のリスクとベネフィットを見極め、患者の安全性と有益性のバランスを常に考えていかなければなりません。

0 ツイート

著者プロフィール

マイルバガナム恵美（カナダ・オタワ在住）

まいるばがなむえみ氏。1995年神戸薬科大学卒業、2004年まで薬局勤務。05年にカナダで薬剤師免許を取得後、薬局勤務。12～15年は日本で薬局に勤務し、15年夏にカナダに戻る。カナダ糖尿病教育者。15年に『カナダで薬剤師になる！』をアマゾンKindleストアで出版。



連載の紹介

マイルバガナム恵美の「日本とカナダの薬局見聞録」

日本の薬局で働いていたときにカナダ人留学生と出会って結婚したマイルバガナム氏。ご主人とともにカナダに渡り、薬剤師免許を取得してカナダの薬局に勤務していましたが、ご主人の仕事の関係で一時帰国し、日本で薬剤師として働いていました。現在はカナダに戻り、両国の薬局の勤務経験を持つ同氏が、カナダでの免許取得の苦労話や、カナダの薬局での体験談や医療事情などをつづります。

[⊕ 連載をフォロー](#)

この連載のバックナンバー

オピオイド訴訟で考えた依存性を持つ薬の販売

2021/02/17

今シーズンのインフルエンザと新型コロナ

2021/01/08

処方薬優位な日本で、セルフメディケーションは進むのか

2020/11/16

クリニックを引き払い、オンライン診療を始めるカナダの医師たち

2020/10/05

カナダと日本、OTC薬と処方薬の違いに戸惑う

2020/08/21

[> もっと見る](#)

この記事を読んでいる人におすすめ

私の視点

東京医大に第三者委員会を設置した理由

2010/08/26